



まめばん設置や駅前整備で

地域の防犯意識が向上

七光台駅西口の整備が進み、駅舎のバリアフリー化も実施しました。また、「南部まめばん」に続き、「北部まめばん」も昨春秋に七光台小学校前に開設し、これまでに、地域ぐるみで取り組んできた防犯意識が、さらに高まってきました。

また、連絡通路の東西と駅舎のホームにエレベーターが1基ずつ設置され、駅舎内には多機能トイレを設置するなどバリアフリー化を実現しました。

地域の防犯の拠点として 北部地区にも「まめばん」

市が平成16、17年度に警察庁から「地域安全活動パイロット地区」

七光台駅西口の整備や 駅舎のバリアフリー化



七光台駅の西側は、組合施行の土地区画整理事業による「まちづくり」が進められ、都市計画道路や区画道路が整備され、公園や駅前広場が造られました。

平成19年2月には、新市建設計画に基づき、市が七光台駅の東西連絡自由通路と東口を整備し、東武鉄道が東西兼用改札口のある橋上駅舎を新築し、西側だけだった改札口が改善されました。

「北部まめばん」を防犯の拠点として

七光台地区自治会連合会長 松本 實さん

以前からボランティアによる防犯パトロールは行ってきましたが、北部地区にまめばんが設置されたことで、さらに地域の防犯意識が高まってきているのではないのでしょうか。小学校前のショッピングセンターに立地していることもあって、子どもたちが学校の帰

りに立ち寄りたり、お年寄りが買い物ついでに相談にきたりと、地域の人とのコミュニケーションもとれ、防犯の拠点として期待しています。



玄関脇には24時間対応の警察直通電話も

の指定を受け、地域ぐるみで防犯活動に取り組んだことなどで、その後、自主防犯組織や防犯組合支部が設立され、地域住民による自主防犯活動が行われてきました。

事故・事件の発生状況や人口・世帯数などから判断し、地域の防犯の拠点としての役割を担って、本来であれば交番設置が望ましい南部地区に18年10月、市営交番として「南部まめばん」を開設しました。また、南部地区同様、21年10月には「北部まめばん」を北部地区にも開設しました。

両まめばんには、警察官経験者の8人の防犯推進員が毎日交代で、14時から19時まで立番や在所勤務のほか、警察や自主防犯組織との連携を行っています。